

読売DoMo新聞

よみうりこどもしんぶん

2016年(平成28年)

5月12日

毎週木曜日発行

特別協力

小学館

第270号

月500円

1部 150円

(税込み)

発行所 読売新聞東京本社

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

☎03-3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp



看護師

いつも患者のそばに

真新しいナースキャップをかぶり、女性たちが顔を見つめています。手に持つフロウソクの灯は、有名なイギリス人の看護師・ナイチンゲール(1820~1910年)の像が持つフロウソクからうつりました。

生になった吉田知世さん(19)は「患者さんの気持ちによりそえる看護師を目指します」と話しました。

5月12日は、ナイチンゲールの誕生日にちなんだ「看護の日」。たがいに助け合い弱っている人に手をさしのげる看護の心を知ってもらおうと、全国でさまざまなイベントが行われています。今回は、小学生の女子に人気の職業・看護師を特集します。(2ページにつづく)



①ナースキャップを与えられた看護学生たち(2015年11月、長崎県の佐世保市立看護専門学校で) ②看護師の指導を受けて、心臓マッサージを体験する子どもたち(2016年5月7日、埼玉県桶川市で)

15
ページ



あたらしい人生ゲーム

10-11
ページ



ヒミツの入リ口

7
ページ



超伝導を応用
浮くスケボー

5
ページ



自動で走る車
開発が進む

4
ページ

内村選手8連覇



5月12日は「看護の日」

ナイチンゲールの誕生日

5月12日はナイチンゲールの誕生日で、「看護の日」。埼玉県桶川市のショッピングセンターで7日、子どもたちが白衣を着たり、心臓マッサージをしたりする体験イベントが行われました。小学4年の倉林さくらさん(9)は「看護師さんにあこがれているので、白衣を着られてうれしい」と喜んでいました。イベントで子どもたちとふれあった、看護師の鈴木恵さん(36)は、子どもたちから看護師になるのが夢でした。鈴木さんは、「大変な仕事ですが、患者さんと接するのはとても楽しい。看護師を目指す子が増えてほしい」と話しました。

みなさんは、フローレンス・ナイチンゲールの伝記を読んだことはありますか？

戦地に向って看病



フローレンス・ナイチンゲール (AP)

ナイチンゲールは1820年、イギリスの裕福な家庭に生まれました。看護の仕事は当時、地位が低い人の仕事とみられ、専門的な知識を持つ人も少なかったのです。でも、ナイチンゲールは苦しむ人の役に立ちたいと、看護の知識を身につけました。

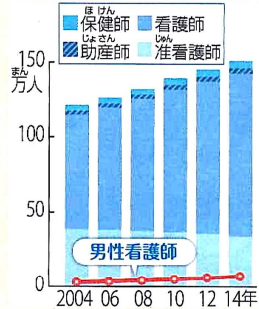
1854年にイギリスが参加したクリミア戦争では戦地に向って、けがを負った人が送られてくる病院で多くの人を看病しました。きれいな環境を作って、感染症で亡くなる人を減らしました。

ナイチンゲールはその後、看護を専門的に学ぶ学校を開きます。看護の仕事の大切さを世界に伝えたのです。

全国で110万人

活躍

看護の仕事につく人の数と男性看護師の数の移り変わり



病院で患者の話を聞く看護師 (愛知県名古屋市中)

男性は10年前の2倍に

看護の仕事は、けがをした人や病気の人がお世話したり、医師を助けたりする仕事です。最近、病院だけでなく、自宅

にいる患者を訪問したり、お年寄りが暮らす施設で働くなど、活躍の場が広がっています。看護師として働いている人の

数は、全国で110万人近くいます。以前は、ほとんどが女性で、

「看護婦」と呼ばれていましたが、最近では男性も増えてきたので、2002年に「看護師」という名前になりました。男性看護師は7万4000人で、10年前の2倍以上になっています。人の命や健康にかかわるやりがいのある仕事ですが、夜勤がある職場もあり、体力が必要で、資格を持っていても仕事をやめてしまう人もいて、看護師が足りない地域もあるそうです。



看護師に白衣を着せてもらって子どもたち(埼玉県桶川市で)

看護師になるには

中学校、高校を卒業
大学、短期大学、専門学校など
看護師国家試験
看護師

看護師は、小学生の女子に人気の職業の一つ。どうしたら看護師になれるのでしょうか。看護師には、医療の知識や専門の技術、コミュニケーション力が必要です。大学で4年間、または短期大学や専門学校などで3年間勉強したあと、国家試験に合格しなければいけません。このほか、都道府県の試験を受かるとなる准看護師

国家試験の合格必要

看護師という資格もあります。看護師になった後、さらに知識や技術を身につけると、保健師や助産師の国家試験に挑戦できます。神奈川県にある、横浜未来看護専門学校副校長・北沢伯子さん(57)さんは、看護師に必要なことは、思いやりの心と責任感、自分の知識を高めていく姿勢だと言います。「ふだんから仲間とのチームワークを大切に、物事を最後までやりとげることを心がけましょう。どちらか看護師には必要な力です」とアドバイスくれました。



看護師学校の副校長・北沢伯子さん



避難しているお年寄りと話す茂木綾子さん(熊本県西原村の避難所)

被災地・熊本で「心のケア」

4月に大地震が起きた熊本県でも、たくさんの看護師が活動しています。

日本赤十字社熊本県支部から派遣された足利赤十字病院の看護師・茂木綾子さん(27)は、熊本県西原村の避難所で被災した人たちに声をかけて回りました。自宅とは違う環境で嵐邪をひいたり、被災した家の片づけでけがをした人がたくさんいたそうです。未安の中で生活をしているので「心のケア」も大切だと言います。

茂木さんは「我慢したり気を使ったりしないで看護師を頼り、自分の体調を第一に考えられるようになってほしい」と話しました。

